

近日発刊のご案内  
2017年4月(予定)

# 物語・日本の治水史

—Story・River improvement History of Japan—

竹林征三 著

四六判/約240頁 予価:2,800円

日本の河川技術のルーツを訪ねて、全国各地の治水の先人の事蹟を訪ね歩きました。四千年前の鯨の治水の大失敗と禹の成功にはじまり、現在に至るまで、脈々とその系譜が続いていることが徐々にわかって参りました。現在混迷を深めている治水事業にとって学ぶべきことが多々あるように考えます。

## 目次

### 治水技術 揺籃期

1. 河川技術…治水とは
2. 伏羲と女媧…治水神話の原点 禹王が学んだ治水
3. 鯨の失敗と禹の治水
4. 素盞鳴の命の治水・八俣の大蛇伝説
5. 茨田堤の治水…強頸と衫子 ヒョウタンに学ぶ
6. 人柱伝説の治水…人命より大切な築堤
7. 利他行の治水…最高レベルの知の結集、人の世の為
8. 自助・共助の治水…融通念佛宗・環濠集落・寺内町

### 治水技術 発展期

1. 武田信玄の治水…都江堰に学ぶ 僧策彦周良  
[コラム] 治水の要所
2. 秀吉の治水…兵法“水攻め”と太閤堤
3. 佐々成政の治水…大木土佐守兼能
4. 加藤清正の治水…清正の治水五則
5. 成富兵庫の治水…『疏導要書』乾坤
6. 大久保長安の治水…歴史から抹殺され謎だらけ
7. 伊奈流の治水…利根川東遷と荒川西遷

8. 伊奈流の謎…ルーツを探る

9. 紀州流の治水…敗北を認めた井澤為永
10. 朱子学の治水と陽明学の治水…熊沢蕃山の治水
11. 西嶋八兵衛…ダム築造の名人が残した伝言「大禹謨」
12. 蔡温の治水…順流真秘の治水  
[コラム] 風土・風水・水土

### 治水技術 成熟・混迷期

1. 田辺朔郎の琵琶湖疏水…朔郎の本当の夢は？
2. 青山士の碑文…『万象に天意を覚る者は幸なり』
3. 大河津分水…御雇技師の大罪
4. 「態と切り」の治水…人為により堤防を切る
5. 日本の治水の系譜を考える
6. 治水と文明…河川技術混迷の時代
7. 原点回帰が求められている
8. 科学、技術そして治水
9. 日本列島…九難の災害の宿命
10. 巨大災害の世紀に突入

キリトリ線

## 図書注文予約票

☆ 必要事項を明記の上、鹿島出版会宛に FAX (03-6202-5205) にて予約してください。

物語・日本の治水史	部数	部
フリガナ お名前		
e-mail アドレス・電話番号		
送付先(ご自宅・お勤め先) 〒		

発刊時に、ご注文についての確認連絡を差し上げます。

## 推薦のことば

高橋 裕

2016年9月30日に行われた風土工学20周年の感謝の会での竹林による「日本の治水の歴史・四千年の系譜」と題する講演に対する講評と解説より(抜粋)

『日本の治水思想がどのように育ってきたか…(中略)…それは現在の河川工学・河川技術にとっても、極めて大事なことで私には思います。…(中略)…竹林さんから教わったことは多々ありますけれども…(中略)…かねがね私は思っているのですが、大学における教育、あるいは実際に現場へ出たの勉強、その他で欠けているものがないか、大学の講義を思い起こしますと、解析法やいろんな数式のことばは教わったけれども、それも大事かもしれないが、それは河川の勉強の基本ではないだろうと、かねがね思っておりました。それが竹林さんのものをいろいろ読んでいくうちに、だんだんわかってきました。…(中略)…信濃川の大河津分水と江戸時代以来の縮図…(中略)…竹林さんは紐解いてくださって、そこに青山士の“万象に天意を覚る者は幸いなり”というキーワードで全体を覆尽くした大河津分水の歴史は誠に見事であるし、川の勉強をする者は、こういう方法論が大事ではないか、一つには川の歴史、歴史といってもいついかなる事件があったというのではなく、それにどういう責任者がどのように関わって、ある時は失敗をし、ある時は成功をしたことを洗いざらいに眺めてみると、とかく我々は総て上手くいったかのように思いますけれども、それは誤ったと言っては失礼であれば、どうしてもいろいろ失敗もあるんです、…我々はどうしても失敗に目を覆って、それは長い技術の歴史の中で一コマであって…(中略)…そこにどういう教訓があるかを学んでこそ、治水の歴史は尊いと思います。竹林さんの話は、そういう歴史を教えていたんだと思います。』